

管理会計担当者の経験 - 知識 - パフォーマンス

福田 淳児 (法政大学)

1. 研究の目的

管理会計担当者の職務の遂行に関連したパフォーマンスの決定要因の一つとして管理会計担当者の有する知識が考えられる。知識が職務の遂行に関連したパフォーマンスに与える影響について、例えば、Bonner and Pennington(1991)は次の2点を指摘している。第1に、組織化された知識は情報を局所的にばらばらな方法で処理するのではなく、状況をグローバルに解釈するためのフレームワークを提供する。このことは情報の解釈の可能性を制約することでパフォーマンスを改善する。第2に、パフォーマンスの優位性は適切な問題解決活動のための探索の必要が限定されることから生じる。専門家は特定のドメインにおける状況に関する知識を、当該状況のなかでどのような行為が適切であるかについての知識に、またタスクにとっての状況のインプリケーションに結びつけることができる。

個人や組織が有する知識は固定的なものではない。Tan and Libby(1997)が指摘するように、個人が有する知識は組織内での教育・訓練によって育成することが可能であるし、スタッフの配置のパターンを変更することで、組織のパフォーマンスを改善する余地がある。

しかしながら、管理会計論の領域において、管理会計担当者が有する知識に着目し、それらの知識の獲得のプロセス、また獲得された知識が管理会計職務の遂行にかかわるパフォーマンスに及ぼす影響を明らかにすることを意図した研究の蓄積は非常に少ない(例外として、Stone et al.(2000)および Hunton et al.(2000)の研究がある)。

Stone et al.は、個人また組織レベルでの管理会計知識をマネジメントするうえで、管理会計担当者が何を知っているのか、そしてそれをいつ知ったのかという問いに答えることが重要であると指摘している。

本報告の目的は、組織における管理会計担当者の教育・経験、知識、パフォーマンスの間に存在する関係を明らかにするための予備的な考察を行うことにある。実務における管理会計担当者の知識の獲得プロセス、また獲得された知識が管理会計担当者のパフォーマンスにどのような影響を与えるかを明らかにすることは、管理会計担当者によるタスクの遂行の有効性また効率性を向上させる可能性を有しているとともに、組織における管理会計担当者の教育・訓練にも有効な示唆を提供することができよう。

2.研究方法

文献レビュー

企業の管理会計担当者への聞き取り調査。

3.予備的調査からの発見事項

経理担当者の企業内でのキャリアは原則として経理関連の部門内での異動といった形で形成されていく。

経理部門のなかでも工場、事業部門、および本社の経理部門をいったりきたりしながらキャリアが形成される。なかには工場での経験が少なく、本社でのキャリアが長い人もいましたが、全体で見ると工場、事業部門、本社のそれぞれを経験するなかで昇進していく。

近年（ここ2,3年）職種別採用の実施が見られる。また、中途採用も積極的に行われている。これに伴い教育・訓練上の問題が指摘された企業もある。

異動にあたっては本人の意向がある程度反映される。1つの職場にとどまる期間については企業ごとに差はあるのですが、近年ではその期間が短くなる傾向がある。

予算編成時点と実績が食い違った場合の対応については、各社で特徴がある。ただ、共通しているのは、各社とも責任追及という言葉は使わず、問題を解決して迅速に対応するという表現を利用している。

主要な参考文献

Hunton, J.E., B.Wier, and Stone, D.N., 2000. Succeeding in Management Accounting. Part2: A Structural Equations Analysis, *Accounting, Organizations and Society*, 25.

Jablonski, S.F., P.J.Keating, and J.B.Heian, 1993. *Business Advocate or Corporate Policeman?*, Financial Executive Research Foundation.

Keating, P.J., and S.F.Jablonski, 1990. *Changing Role of Financial Management*, Financial Executive Research Foundation.

櫻井通晴編著, 1997. 『わが国の経理・財務組織』税務経理協会.

Stone, D.N., J.E.Hunton, and B.Wier, 2000. Succeeding in Management Accounting. Part1:Knowledge, Ability, and Rank, *Accounting, Organizations and Society*, 25.

